

まごころバンク
りょうしん REPORT 2018



平成30年度 経営情報 上半期
(平成30年9月末現在)

平素より、皆さまには格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

本年も中間期(平成30年9月期)のディスクロージャー誌を作成いたしました。ご高覧のうえ、当組合の経営に対するご理解を一層深めていただければ幸いに存じます。

これからも健全経営に徹し、お客さま満足度の高い「まごころバンク『りょうしん』」を目指して参りますので、変わらぬご支援・ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年11月

理事長 新屋貴憲

経営理念

1. 相互扶助の精神で着実な発展

三菱重工長崎造船所ならびに関連会社に働く者の生活向上をめざし、相互扶助の精神で創立した『勤労者による信用組合』の基盤にたつて、着実な発展を期す。

2. 豊かな地域づくりに貢献

組合員の財産形成および事業発展のニーズに応え、親しまれ、信頼され、豊かな地域づくりに貢献する金融機関への定着を図る。

3. 健全経営と社会的地位の向上

金融環境等の変化に即応できる体制確立、人材の確保・育成により、健全な経営の維持・伸長と職員の社会的地位の向上を図る。

概要

- 名 称…長崎三菱信用組合
(愛称:まごころバンク『りょうしん』)
- 創 立…昭和28年1月7日
- 本店所在地…長崎市水の浦町1番2号
- 出 資 金…2,008百万円
- 店 舗 数…7店舗、1出張所
- 預 金…111,832百万円
- 貸 出 金…58,819百万円
- 組 合 員 数…25,511人
- 常勤従業員…106人

総代氏名 (敬称略・順不同) ※氏名の後に就任後の連続回数を記載しております。

職域総代(50名)

山口 慧 ①	石川 章孝 ①
大城 宗朋 ①	赤瀬 隆一 ①
瀬川 千昌 ①	尾崎 勇太 ①
青木 良太郎 ①	森本 晋介 ①
寺尾 健二 ①	白木 諒太 ①
中島 正樹 ①	淵野 敏博 ④
島田 英樹 ①	山口 智広 ②
山田 喬太郎 ①	中島 久雄 ①
立花 伸吾 ①	吉武 悟 ①
佐藤 慎二郎 ①	橋本 幸司 ②
古賀 民雄 ①	中村 茂 ④
渡辺 洋一 ①	中山 竜馬 ⑤
上島 憲博 ①	竹田 和樹 ①
瀬崎 幸男 ①	松尾 憲一 ②
田端 知晃 ①	高松 辰二 ①
山口 大輔 ①	犬塚 孝治 ①
秋山 広行 ①	
仲松 伸一郎 ①	
増田 拓郎 ①	
前田 大輔 ①	
高田 史朗 ①	
松尾 啓介 ①	
村上 玄明 ①	
大萱生 渉 ①	
勝山 暢 ①	
石井 勇毅 ①	
神田 幸弘 ①	
林田 雄一 ①	
高比良 英 ①	
峰 直宏 ①	
荒木 新一 ①	
酒井 恵二 ①	
首藤 紳伍 ①	
山下 真 ①	

店周総代(95名)

本店営業部

我那覇 義一 ③
肥喜里 祐二 ①
関本 士朗 ③
山中 満秋 ②
牛島 誠 ①
末岡 義之 ⑨
今道 勝行 ⑦
初田 博當 ⑧

木鉢支店

梅本 邦明 ⑤
河邊 晴一 ①
小串 雄也 ③
藤岡 哲哉 ⑨
横浦 順一 ②
本村 清治 ⑤
梶原 富茂 ③
江頭 勝 ②
井手 壽人 ④
駒田 俊彦 ④
黒田 義夫 ③
林田 勝義 ⑤

深堀支店

村田 嘉幸 ①
南 光輝 ③
三浦 雅 ①
峰 利美 ③
山下 浩二 ③
久保田 哲弥 ①
井手上 謙二 ①
喜多 昭夫 ⑤
岩永 正和 ①

森山 繁 ②
小西 良一 ⑤
池崎 道男 ⑥
前川 亮 ⑥
三好 保行 ④

浜町支店

峰 清高 ③
山崎 成弘 ③
酒田 貴子 ②
山崎 正晶 ②
園田 敏朗 ③
上笹 貴 司 ③
香田 正宣 ③
猪股 文雄 ⑨
佐々木 徳郎 ⑨
金谷 繁臣 ⑥
鎌田 秀光 ⑥
高山 英樹 ①
佐藤 功 ①
福田 正二 ③

滑石支店

浦田 進一郎 ①
堀 憲一 ①
石川 信二 ①
福崎 督 ①
宮副 輝之 ①
若杉 進 ①
東 美暢 ①
山崎 譲 ②
渡部 恭三 ①
奥山 直 ①
平尾 正治 ⑤

長谷崎 正弘 ⑤
横瀬 宏 ②
徳安 政英 ④
森内 洋一 ④
内田 政信 ⑨
中川 勝秀 ③
古谷 東明 ④

住吉支店

岩本 匡 ②
秋吉 剛 ①
今泉 利行 ①
小川 隆芳 ②
藤井 篤 ④
山田 貴詞 ②
山下 淳 ①
大石 直幸 ②
花浦 圭一郎 ①
吉田 隼人 ①
高比良 末男 ①
上野 勝敏 ①
山口 繁樹 ⑦
分部 悟 ③
源城 和雄 ①
向 潮 ⑤
山口 征彦 ①
中島 仁 ④
中村 豪 ②
森田 久美 ③

東長崎支店

石渡 健太郎 ②
谷川 直茂 ①
麻生 博孝 ①

増山 壮大 ①
本田 敏彦 ④
鶴田 光彦 ⑧
村野 磯秋 ①
佐藤 孝男 ①
西川 邦男 ①

預金・貸出金について

普通預金、定期預金を中心に1,118億円の預金をお預かりしております。お預かりした預金は588億円を資金が必要な方や事業所などへの貸出金として、その他を国債や安全性の高い社債などの有価証券を中心として運用を行っております。



収益について

平成30年9月期の収益につきましては、当期純利益72百万円を計上いたしました。

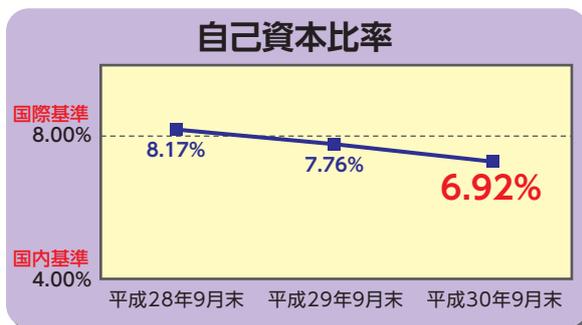
(単位: 千円)

項目	平成28年9月末	平成29年9月末	平成30年9月末
業務純益	59,688	52,781	66,426
経常利益	61,703	79,853	76,437
当期純利益	52,728	78,871	72,174

※ 業務純益・・・貸出金利息などから預金利息・必要経費などを差し引いた、金融機関本来の業務活動から生じる利益です。

経営の健全性について

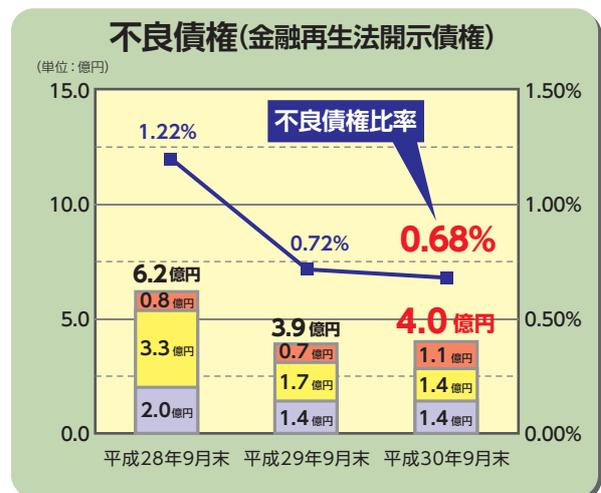
金融機関の健全性を示す指標である自己資本比率は**6.92%**となり、国内基準である4%超を維持しております。また、不良債権比率も**0.68%**と非常に低い比率となっております。



自己資本比率とは・・・

貸出金や保有する有価証券などの総資産に占める、出資金や利益の蓄積などの割合です。この比率が高いほど不良債権処理等に対する備えが充実していることを示すため、健全性をあらわす重要な指標となっております。

◎ 自己資本比率算出に係る金融庁告示に基づき算出しております。



不良債権比率とは・・・

融資先の経営悪化や倒産などの理由から、回収困難になる可能性が高い貸出金の総貸出金に占める割合です。

- 破産更生債権及びこれらに準ずる債権**・・・破産や会社更生等の事由により、経営破綻に陥っているお取引者に対する貸出金などのことをいいます。
- 危険債権**・・・経営破綻の状態には至っていないものの、財政状態および経営成績が悪化し、契約通りに返済できない可能性が高い貸出金などのことをいいます。
- 要管理債権**・・・「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」「危険債権」以外で、元金の支払いが3ヶ月以上遅れている貸出金や、貸出条件を緩和している貸出金などに該当する債権のことをいいます。

経理・経営内容

○貸借対照表

(単位:千円)

科 目	平成29年9月末	平成30年9月末	科 目	平成29年9月末	平成30年9月末
(資産の部)			(負債の部)		
現金・預け金	47,838,883	47,139,191	預金積金	111,828,605	111,832,114
有価証券	24,762,857	29,999,551	借入金	11,800,000	20,400,000
貸出金	54,878,981	58,819,425	その他負債	156,004	172,787
その他資産	609,639	567,018	賞与引当金	51,145	52,782
有形固定資産	1,142,789	1,130,054	退職給付引当金	270,850	268,944
無形固定資産	7,114	7,114	繰延税金負債	42,698	7,416
繰延税金資産	—	—	債務保証	4,570	—
債務保証見返	4,570	—	負債の部合計	124,153,875	132,734,046
貸倒引当金	△ 155,511	△ 145,637	(純資産の部)		
			出資金	2,049,148	2,008,377
			利益剰余金	2,709,211	2,706,375
			組合員勘定合計	4,758,359	4,714,752
			その他有価証券評価差額金	177,088	67,917
			純資産の部合計	4,935,448	4,782,670
資産の部合計	129,089,323	137,516,717	負債及び純資産の部合計	129,089,323	137,516,717

○損益計算書

(単位:千円)

科 目	平成29年9月期	平成30年9月期
経常収益	801,852	814,168
資金運用収益	618,682	636,683
役務取引等収益	49,636	49,012
その他業務収益	103,218	112,840
その他経常収益	30,314	15,633
経常費用	721,998	737,731
資金調達費用	26,473	22,342
役務取引等費用	110,293	114,921
その他業務費用	76	132
経常費用	581,913	594,711
その他経常費用	3,242	5,622
経常利益	79,853	76,437
特別利益	—	—
特別損失	1,131	—
税引前当期純利益	78,721	76,437
法人税、住民税及び事業税	7,669	6,437
法人税等調整額	△ 7,819	△ 2,174
法人税等合計	△ 149	4,263
当期純利益	78,871	72,174
繰越金(当期首残高)	300,339	269,201
当期末処分剰余金	379,211	341,375

貸出金利息や手数料収入など、金融機関本来の業務活動の結果生じた「業務収益」と、株式などの売却益やその他収益などを合わせたものを「経常収益」といいます。

お取引先への預金利息や各種経費など業務活動のために生じる費用に不良債権への備えである貸倒引当金など業務に付随して生じる臨時費用を合わせたものを「経常費用」といいます。

「経常収益」から「経常費用」を差し引いたものを「経常利益」といいます。

「経常利益」に本来の業務に付随しない「特別損益」を加減算し、さらに税金などを差し引いた、最終的な利益を「当期純利益」といいます。

○金融再生法開示債権及び同債権に対する保全額

(単位:百万円)

区 分	債権額 (A)	担保・保証等 (B)	貸倒引当金 (C)	保全額 (D)=(B)+(C)	保全率 (D)/(A) %	貸倒引当金引当率 (C)/[(A)-(B)] %	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	平成29年9月末	78	68	10	78	100.00%	100.00%
	平成30年9月末	110	71	38	110	100.00%	100.00%
危険債権	平成29年9月末	172	53	118	172	100.00%	100.00%
	平成30年9月末	143	53	89	143	100.00%	100.00%
要管理債権	平成29年9月末	145	76	8	84	57.77%	11.54%
	平成30年9月末	149	91	3	94	63.05%	5.23%
不良債権計	平成29年9月末	396	197	136	334	84.49%	69.00%
	平成30年9月末	402	216	131	347	86.30%	70.42%
正常債権	平成29年9月末	54,556					
	平成30年9月末	58,488					
合 計	平成29年9月末	54,953					
	平成30年9月末	58,891					

◎平成30年9月期の金融再生法による開示債権は、平成30年3月期の債務者区分をベースに簡易自己査定を実施し、4月1日から9月末までに倒産、不渡り等の客観的な事実等により、当組合の定める基準に基づく債務者区分見直し後の区分によって開示しております。なお、合計額は貸出金、未収利息、仮払金および債務保証見返を加算した債権額です。

経理・経営内容

○貸出金業種別残高・構成比

(単位:百万円)

業種別	平成29年9月末		平成30年9月末	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)
製造業	2,581	4.7	2,621	4.4
農業、林業	3	0.0	2	0.0
建設業	136	0.2	154	0.2
電気、ガス、熱供給、水道業	909	1.6	1,040	1.7
運輸業、郵便業	46	0.0	38	0.0
卸売業、小売業	445	0.8	455	0.7
金融業、保険業	570	1.0	575	0.9
不動産業	327	0.5	490	0.8
飲食業	45	0.0	38	0.0
医療、福祉	424	0.7	395	0.6
その他のサービス	764	1.3	757	1.2
その他の産業	8	0.0	4	0.0
小計	6,262	11.4	6,577	11.1
地方公共団体	1,060	1.9	857	1.4
個人(住宅・消費・納税資金等)	47,555	86.6	51,384	87.3
合計	54,878	100.0	58,819	100.0

○有価証券の時価情報

(単位:百万円)

満期保有目的の債券で時価のあるもの	平成29年9月末					平成30年9月末				
	貸借対照表計上額	時価	評価差額		貸借対照表計上額	時価	評価差額			
			うち益	うち損			うち益	うち損		
社債	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
合計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
その他有価証券で時価のあるもの	取得原価	貸借対照表計上額	評価差額		取得原価	貸借対照表計上額	評価差額			
			うち益	うち損			うち益	うち損		
	株式	—	—	—	—	—	—	—	—	
	債券	21,567	21,857	289	315	25	25,881	26,058	177	231
その他	2,938	2,893	△45	27	73	4,012	3,929	△83	24	107
合計	24,506	24,751	244	343	99	29,894	29,988	93	255	161

○時価のない有価証券の主な内容及び貸借対照表計上額

(単位:百万円)

	平成29年9月末	平成30年9月末
満期保有目的の債券	—	—
子会社及び関連法人等株式	10	10
その他の有価証券	非上場株式	1
	その他	—

※ 諸計数につきましては、表示単位未満を切り捨てて表示しておりますので、合計額と一致しない場合があります。

お取引先への支援体制

○ 当組合は今日まで、協同組織金融機関として個人や中小企業・個人事業主の皆さま方への金融サービスの向上に努めております。特に平成23年度以降は「地域密着型金融の推進に関する監督指針の改正」に沿い「顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮」「地域の面的再生への積極的な参画」「地域や利用者に対する積極的な情報発信」を3本柱として掲げ、地域に密着した活動を推進しております。

また当組合は、平成25年7月に中小企業経営力強化支援法に基づく「経営革新等支援機関(認定支援機関)」として認定を受けました。さらに平成27年8月には日本政策金融公庫と「業務提携・協力に関する覚書」を締結いたしました。

今後も認定支援機関として、地域貢献および支援体制を強化するとともに、日本政策金融公庫との連携により、長崎市エリアの経済活性化への貢献も目指してまいります。

1. 事業所融資の取り組み

当組合のお取引先となる中小企業・個人事業主の皆さまに円滑な資金提供を行うべく「ビジネスカードローン」等の事業性融資商品の推進を図っております。また認定支援機関としてコンサルティング機能を発揮することにより、中小企業・個人事業主の皆さまの多様なニーズに対応し、積極的なサポートを実施してまいります。

2. ローンレビューの実施

お取引先のニーズに即した情報提供・資金提供ができるように、また「しんくみネット」を利用したご提案ができるように、お客さまへの訪問活動を実施しております。

3. 事業再生・創業支援

事業再生支援・創業支援につきましては、重要課題として地域密着型金融推進計画に織り込み、今後も前向きに取り組んでまいります。

TOPICS トピックス

●保証付ローン 0.7%金利引下げキャンペーン実施中！

対象商品をキャンペーン期間中にお申込みいただく場合に、当組合カードローンをご契約中または新規でご契約の方は、対象商品の適用金利が0.7%引下げとなるキャンペーンを実施中です。

■キャンペーン期間：平成30年10月1日(月)～平成31年3月29日(金)

■対象商品：カーライフローン、奨学ローン、教育ローン(ジャックス保証)

●資産運用応援定期キャンペーン実施中！

キャンペーン期間中、投資信託(積立型の場合は年間積立予定額)10万円以上ご購入の場合、ご購入額を上限として、特別金利の定期預金(3ヶ月もの自動継続型)をご利用いただけます。

■キャンペーン期間：平成30年4月2日(月)～平成31年3月29日(金)

※特別金利定期預金は、新規のお預入れで投資信託ご購入日に限ります。

※一般セットプラン、ニューマネーセットプラン、ご退職金セットプランで預入金利が異なります。

●りょうしん年輪クラブ「嬉野温泉一泊二日の旅」を開催

年輪クラブの恒例行事である特別プラン旅行について、今年は嬉野温泉を宿泊地として開催し、平成30年9月18日・19日・20日の3組で、合計96名の皆さまにご参加いただきました。

ご夕食時の『お楽しみ抽選会』も大いに盛り上がり、楽しい旅となりました。

●ホームページリニューアル！

平成30年7月30日より、お客さまのより一層の利便性向上を図るため、ホームページの全面リニューアルを実施いたしました。全体デザインの見直しに加え、マルチデバイス対応とともに、資産運用・ローン・ライフプランなどのシミュレーションツールなどを中心にコンテンツを追加し、店舗検索機能や投資信託商品情報などの新たな機能を導入いたしました。

ホームページのアドレス(URL)が変更になりました。

<https://www.ryo-sin.co.jp>

※各商品等の詳細・相談などにつきましては、各営業店または事業管理本部(095-861-4161)まで。

●営業店のご案内

本店営業部 ☎095-861-3724 滑石支店 ☎095-857-2224
本店営業部 ☎095-864-0637 住吉支店 ☎095-847-3373
本館出張所 ☎095-864-0637 東長崎支店 ☎095-813-9055
木鉢支店 ☎095-832-9200
深堀支店 ☎095-871-3608
浜町支店 ☎095-822-1881

●店舗外ATMコーナー

JR長崎駅出張所 戸町出張所
みらい長崎出張所 長与出張所
重工記念長崎病院出張所 一三菱重工内一
ミスターマックス長崎店出張所 内業出張所
諫早久山台出張所 外業出張所
福田出張所 諫早工場出張所

ホットライン  0120-324892

ホームページ <https://www.ryo-sin.co.jp>